

ウッチーの
校長室だより
令和2年9月17日

春風接人



朝夕はすっかり涼しくなり、エアコンをつけなくても、気持ちよく過ごせる秋らしい気候になってきました。子ども達も気候の変化には敏感で、これまで外で遊ぶことを控えていた子も、一斉に校庭に出てくるようになりました。校庭に元気な声が響き、活気が出てきたように感じます。生活時程も 9 月からは通常に戻したので、おつみの時間や昼休みの時間が少し長くなり、のんびりと思いきいの休み時間を楽しんでほしいと思います。

2 学期は、5 年生の宿泊学習を皮切りに、これまで延期してきた行事などを予定しています。校外に出る機会もありますが、感染症の状況を注視し、対策をしながら慎重に取り組んでいきたいと思えます。貴重な機会に体調不良で参加できないことのないように、健康管理については引き続きご注意をお願いします。



さて、朝の集団登校での出来事を 2 つ紹介します。

玄関で児童の登校を迎えていると、先に登校してきた児童から、「Aさん、気分が悪くなって途中のローソンにいます。」との報告。車で様子を見に行くと、児童館手前で歩いている 2 人を発見。Aさんは少し顔色が悪い様子です。事情を聴くと、6 年生の班長さんは、ローソンまで付き添い、Aさんがトイレを借りて体調が良くなるのを待っていてくれたとのこと。他の子は先に行かせ、自分は下級生のAさんの様子を見ながらゆっくり連れてきてくれたのです。6 年生の班長さんの立派な行動に感心しました。

もう一つは、登校途中で 1 年生が歩くのを嫌がって歩かなくなってしまった時の 6 年生の対応です。6 年生の班長と副班長は、何とか学校に連れてこようと促しています。傘を振り回して遊ばないように持ってあげて、1 年生の子のペースでゆっくり歩いてくれていました。6 年生の B さんが 1 年生の時には、結構上級生を困らせていたのに、6 年生になるとちゃんと下級生の世話をしてくれて、Bさんの成長を実感しました。

他の活動でも、上級生が下級生に優しく関わりながら助けてくれている場面がたくさんあると思います。清掃活動や委員会、縦割り班活動など、違う学年が混じった集団で活動することで、上級生から下級生へと良い習慣が自然と受け継がれていくといいなと思います。9 月になり、学校では 1 年の折り返し地点です。前半はいろいろな活動が自粛傾向でしたが、後半は上級生の活躍をできる場面を多くし、下級生は上級生の姿をしっかり見て、王子保小学校の良さを引き継いでほしいと思います。

さて、学校では校内体育大会に向けて少しずつ準備が始まってきました。保護者の皆様に、学校での子ども達の活動の様子や本校職員の指導の様子を参観していただく貴重な機会ですので、制約はありますが、是非お越しくださり子ども達の活躍に応援をお願いいたします。